

株主の皆様へ

第122期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

証券コード:5707

 東邦亜鉛株式会社

契島製錬所

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第122期上半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）につきまして、事業の概況並びに決算状況をここに ご報告申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は以下のとおりとなりました。

当社の主力製品である亜鉛や鉛の金属相場は、前年度末の新型コロナウイルス感染症の影響（以下、「コロナ影響」という。）による急落から一転して、最大消費国である中国が経済活動を早期に再開したこともあり、回復基調となりました。銀についても、金相場に追随する形で上昇しました。

一方為替相場は、豪州に鉱山会社（CBH Resources Ltd.（以下、「CBH社」という。））を有する当社グループに影響を与える米ドル／豪ドル相場につきましては、1～3月（CBH社の第1四半期）は資源価格の下落に伴い豪ドル安、4～6月（同社の第2四半期）は金属

価格の上昇に伴い豪ドル高と対照的な動きとなりました。期中平均では前年同期比豪ドル安となりました（豪ドル安は資源事業の業績にプラスの影響）。

販売面では、コロナ影響に伴う経済活動の停滞により、当社グループには厳しい環境となりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、コロナ影響もあり、国内の殆どの事業部門で減収となったことに加え、資源事業においても、CBH社エンデバー鉱山の昨年末からの休止などもあり、連結売上高は前年同期比で減収となりました。

損益面では、前年同期の在庫評価損が在庫評価益に転じたこと、買鉱条件の改善や金の増販などもあり、製錬事業で営業利益が前年同期比90億円の増益となりました。加えて資源事業でも営業損失が前年同期比20億円縮小したこともあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期比で増益かつ黒字に転じました。

（連結累計）

（単位：百万円）

	第121期上半期 <small>（2019年4月1日から 2019年9月30日まで）</small>	第122期上半期 <small>（2020年4月1日から 2020年9月30日まで）</small>	増減（増減率％）	
売上高	49,160	45,209	△3,951	（△8）
営業利益	△7,752	2,976	10,728	（－）
経常利益	△7,336	3,387	10,723	（－）
親会社株主に帰属する四半期純利益	△6,702	2,702	9,405	（－）

区分	亜鉛（月平均）		鉛（月平均）		銀（月平均）		為替レート（月平均）	
	LME相場	国内価格	LME相場	国内価格	ロンドン相場	国内価格	米ドル	豪ドル
	\$/t	¥/t	\$/t	¥/t	\$/toz	¥/kg	¥/US\$	US\$/A\$
2019年3月	2,851	365,800	2,055	294,900	15.3	56,120	111.24	0.7076
6月	2,602	332,500	1,892	267,800	15.0	53,520	108.12	0.6945
9月	2,320	299,400	2,071	284,200	18.2	64,430	107.45	0.6800
12月	2,274	299,800	1,899	272,200	17.1	61,350	109.24	0.6872
2020年3月	1,906	259,400	1,745	249,200	14.9	54,000	107.41	0.6235
6月	2,021	272,200	1,740	248,700	17.7	62,700	107.55	0.6888
9月	2,451	311,200	1,881	265,500	25.9	89,940	105.76	0.7231

※LMEとは、ロンドンにある世界最大規模の非鉄金属の取引所です。

なお、中間配当につきましては、下半期の当社グループを取り巻く経営環境の動向を見極めたく、従来同様、実施を見送らせていただきたいと存じますので、何卒ご了承承賜りませうようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

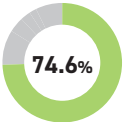

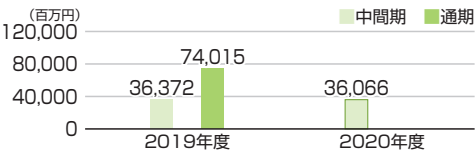
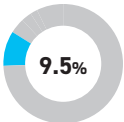

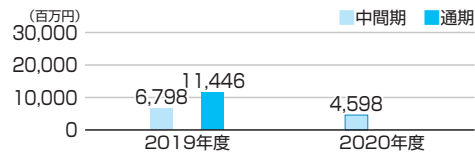
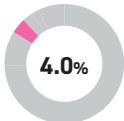

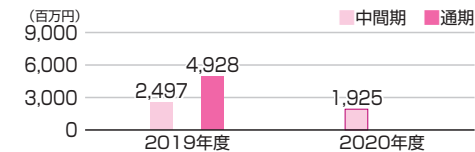
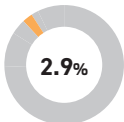

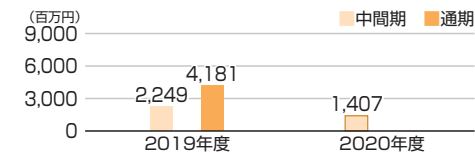
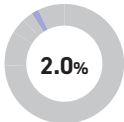

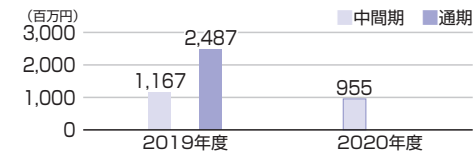
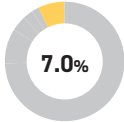
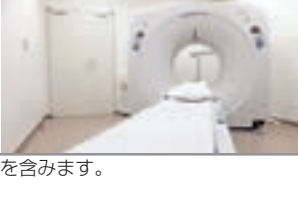
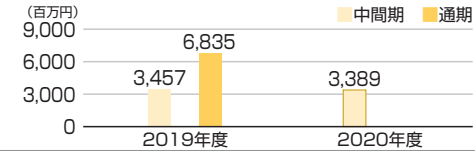
経営理念

- 1 “顧客”を満足させる良質の製品・サービスを提供する。
- 2 “株主”の期待に応える業績をあげ、企業価値の増大を図る。
- 3 “従業員”の生活を向上させ、働き甲斐のある会社にする。
- 4 “地域”の一員として認められ、地域にとって存在価値のある会社を目指す。



代表取締役社長 丸崎 公康

事業部門別の概況

	売上高・構成比		売上高の推移
製錬事業部門	 <p>74.6%</p> <p>360億66百万円</p>		 <p>(百万円)</p> <p>中間期 通期</p> <p>2019年度: 36,372 (中間期), 74,015 (通期)</p> <p>2020年度: 36,066 (中間期)</p>
資源事業部門	 <p>9.5%</p> <p>45億98百万円</p>		 <p>(百万円)</p> <p>中間期 通期</p> <p>2019年度: 6,798 (中間期), 11,446 (通期)</p> <p>2020年度: 4,598 (中間期)</p>
電子部材事業部門	 <p>4.0%</p> <p>19億25百万円</p>		 <p>(百万円)</p> <p>中間期 通期</p> <p>2019年度: 2,497 (中間期), 4,928 (通期)</p> <p>2020年度: 1,925 (中間期)</p>
環境・サイクリカル事業部門	 <p>2.9%</p> <p>14億7百万円</p>		 <p>(百万円)</p> <p>中間期 通期</p> <p>2019年度: 2,249 (中間期), 4,181 (通期)</p> <p>2020年度: 1,407 (中間期)</p>
未・建築・プラントエンジニアリング事業部門	 <p>2.0%</p> <p>9億55百万円</p>		 <p>(百万円)</p> <p>中間期 通期</p> <p>2019年度: 1,167 (中間期), 2,487 (通期)</p> <p>2020年度: 955 (中間期)</p>
その他事業部門	 <p>7.0%</p> <p>33億89百万円</p>		 <p>(百万円)</p> <p>中間期 通期</p> <p>2019年度: 3,457 (中間期), 6,835 (通期)</p> <p>2020年度: 3,389 (中間期)</p>

※各事業部門の売上高には、事業部門間売上高を含みます。

当上半期概況

〈亜鉛〉
期中平均では前年同期比で相場安となったことや減販により、売上高は前年同期比30%の減収となりました。

〈鉛〉
亜鉛同様に、期中平均では前年同期比で相場安となったことや減販により、売上高は前年同期比16%の減収となりました。

〈銀〉
ロンドン銀相場の上昇に加えて増販も寄与し、売上高は前年同期比45%の増収となりました。

以上のほか、硫酸などその他の製品を合わせた当事業部門の業績は、前年同期比での金属相場安や亜鉛・鉛の減販もあり減収となりました。一方、営業利益は在庫評価益の計上（前年同期は在庫評価損を計上）や金・銀の増販、非鉄スラグ処理費用の減少などもあり、前年同期比で90億円の大幅増益かつ黒字転換となりました。

前年同期（1月—6月）比での金属相場安や、CBH社エンデバー鉱山の休止などもあり、売上高は前年同期比大幅な減収となりました。一方損益面では、CBH社ラスプ鉱山が金属相場の影響で減益となったものの、エンデバー鉱山の休山前コストが当期は消滅したことや、決算期スレの調整効果もあり、前年同期比で損失が減少しました。



ラスプ鉱山坑道入口

〈電子部品〉
コロナ影響で海外顧客の操業が落ち込んだOA機器向けが減販となり、売上高は前年同期比16%の減収となりました。

〈電解鉄〉
コロナ影響で航空機向け特殊鋼、鉄鋼研究開発向けの販売量が落ち込み、売上高は前年同期比21%の減収となりました。

〈プレーティング（金、銀、錫、ニッケル等のメッキ材）〉
コロナ影響で主用途の車載用が減販となったことから、売上高は前年同期比33%の減収となりました。

〈機器部品〉
コロナ影響もあり、粉末冶金部門は自動車関連製品が低調に推移し、また、タイヤ用バランスウエイト部門も自動車ライン向けの減少が大きく、売上高は前年同期比31%の減収となりました。

以上の結果、当事業部門の業績は、前年同期比で減収減益となりました。

主力製品の酸化亜鉛は、コロナ影響による自動車生産台数の減少もあり前年同期比で減販となり、加えて亜鉛の国内価格が前年同期比で安かったこともあり減収となりました。使用済みニカド電池の処理や硫酸リサイクルなどその他のリサイクル事業についても前年同期比減収となり、当事業部門の業績は、前年同期比で減収減益となりました。



使用済みニカド電池

当期はコロナ影響から営業活動が制限され受注が減少したこともあり、前年同期比18%の減収となりました。しかしながら、当期は前期にあったプラントエンジニアリング事業での不採算の案件が無くなったことから、前年同期比で増益となり、黒字に転じました。

〈防音建材（商品名：ソフトカーム）事業〉

コロナ影響により一部の現場で工事が遅延したこともあり、医療向けX線遮蔽用鉛板に加えプラントの設備防音用鉛シートが減販、更に住宅着工数の減少も加わり、売上高は前年同期比で12%の減収となりました。

以上のほか、環境分析部門を合わせた当事業部門の業績は、前年同期比で若干の減収となりましたが、損益面においては、原料価格の下落等もあり、前年同期比増益となりました。

連結決算の概況

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期	科 目	前 期	当 期
	(2019年9月30日現在)	(2020年9月30日現在)		(2019年9月30日現在)	(2020年9月30日現在)
〔資産の部〕			〔負債の部〕		
流動資産	71,825	65,136	流動負債	61,756	55,779
固定資産	60,988	55,749	固定負債	24,763	28,902
有形固定資産	38,921	37,536	負債合計	86,519	84,682
無形固定資産	12,163	11,328	〔純資産の部〕		
投資その他の資産	9,903	6,884	株主資本	37,787	29,217
			資本金	14,630	14,630
			資本剰余金	9,876	9,876
			利益剰余金	13,310	4,740
			自己株式	△30	△30
			その他の包括利益累計額	8,507	6,986
			その他有価証券評価差額金	432	136
			繰延ヘッジ損益	△701	△903
			土地再評価差額金	8,997	8,608
			為替換算調整勘定	△326	△746
			退職給付に係る調整累計額	105	△108
			純資産合計	46,294	36,203
資産合計	132,814	120,885	負債・純資産合計	132,814	120,885

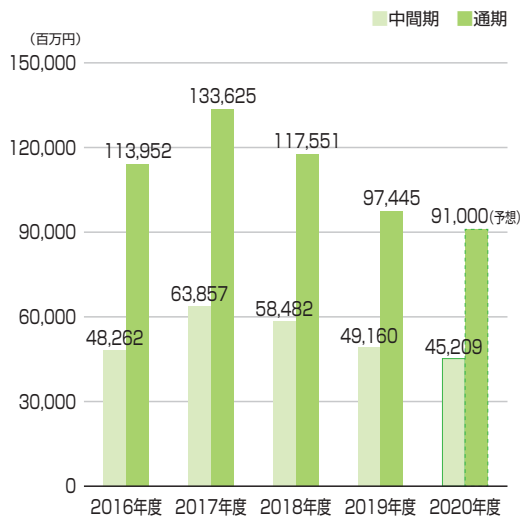
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

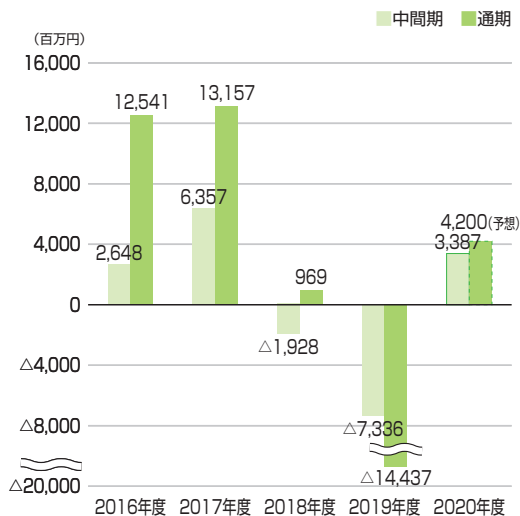
科 目	前 期	当 期
	(2019年4月1日から2019年9月30日まで)	(2020年4月1日から2020年9月30日まで)
売上高	49,160	45,209
売上原価	52,756	38,423
売上総利益又は売上総損失 (△)	△3,595	6,786
販売費及び一般管理費	4,157	3,810
営業利益又は営業損失 (△)	△7,752	2,976
営業外収益	815	698
営業外費用	398	287
経常利益又は経常損失 (△)	△7,336	3,387
特別利益	38	691
特別損失	831	81
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△8,128	3,996
法人税、住民税及び事業税	15	324
法人税等調整額	△1,441	969
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△6,702	2,702
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△6,702	2,702

●記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

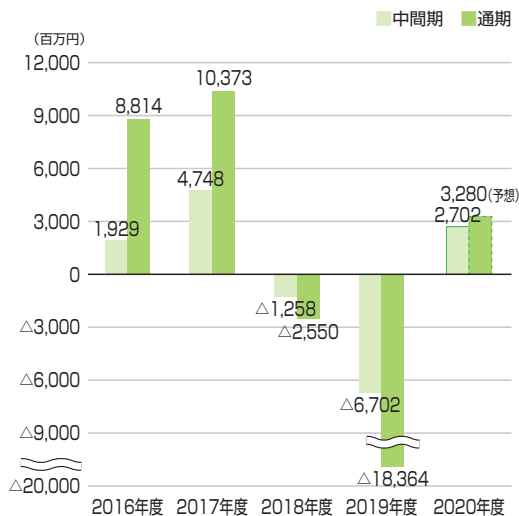
▶ 売上高の推移



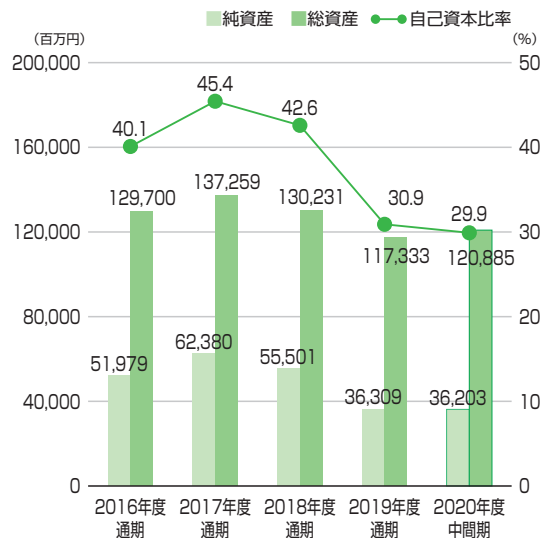
▶ 経常利益の推移



▶ 親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



▶ 純資産、総資産、自己資本比率の推移



会社の概要

- **本 社** 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
電話 (03) 6212-1711 (代表)
- **設 立** 1937年3月5日
- **資 本 金** 14,630,708,899円
(2020年9月30日現在)
- **従業員数** 単体：716名、連結：1,121名
(2020年9月30日現在)
- **事業内容** 製錬事業、資源事業、電子部材事業、
環境・リサイクル事業、防音建材事業

■ 取締役 (2020年9月30日現在)

- 代表取締役社長 丸崎 公康
- 取締役兼副社長執行役員 今井 力 技術・開発本部長
- 取締役兼専務執行役員 山岸 正明 管理本部長兼財務部長
兼システム統括部長
- 取締役 武藤 雅俊 常勤監査等委員
(社外取締役)
- 取締役 多田 稔 監査等委員
(社外取締役)
- 取締役 乙葉 敏夫 監査等委員

■ 執行役員 (2020年9月30日現在)

- 常務執行役員 田島 義巳 亜鉛・鉛事業本部長
兼機器部品事業部長
兼環境・リサイクル事業部担当
- 常務執行役員 伊藤 正人 電子部品事業本部長
兼電子部品事業部長
兼藤岡事業所長
- 執行役員 大久保 浩 総務本部長
兼総務部長
兼CSR推進室長
- 執行役員 飯塚 茂 契島製錬所長
- 執行役員 中川 英樹 資源事業部長
兼資材統括部長
兼ソフトカーム事業部担当
- 執行役員 森田 英治 安中製錬所長

ホームページのご案内

決算短信等、最新の会社情報を当社ホームページの「IR情報」に掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるよう工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。



▲トップページ
<http://www.toho-zinc.co.jp/>



▲IRサイト
<http://www.toho-zinc.co.jp/ir/>



- A** 本社
- B** 大阪支店
- C** 名古屋支店
- D** 安中製錬所
- E** 契島製錬所
- F** 小名浜製錬所
- G** 藤岡事業所

契島製錬所



小名浜製錬所



安中製錬所



藤岡事業所



- A** 大連天馬電器有限公司（中国：大連）
- B** 天津東邦鉛資源再生有限公司（中国：天津）
- C** 諸城華日粉末冶金有限公司（中国：諸城）
- D** 東邦亜鉛(上海)貿易有限公司（中国：上海）
- E** 東邦亜鉛香港有限公司（中国：香港）

東邦亜鉛香港有限公司



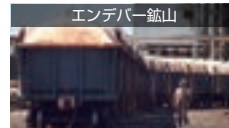
諸城華日粉末冶金有限公司



CBH Resources Limited
Level 10, 99 Mount Street,
North Sydney NSW 2060 Australia

- A** 本社
- B** ラスブ鉱山
- C** エンデバー鉱山
- D** ニューキャッスル港

エンデバー鉱山



ラスブ鉱山



ニューキャッスル港



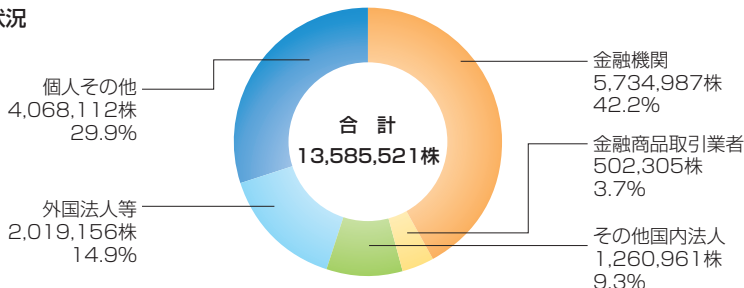
株式の状況 (2020年9月30日現在)

- 発行可能株式総数……………26,400,000株
- 発行済株式の総数……………13,585,521株
- 株 主 数……………10,255名
- 大 株 主

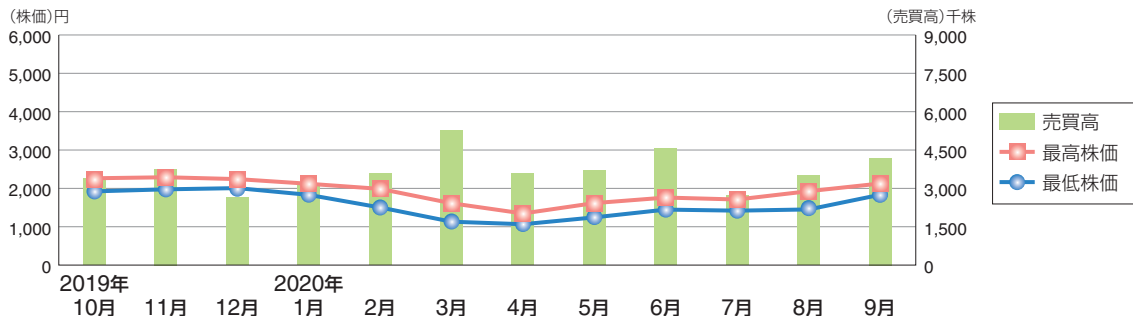
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,664,800	19.61
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	981,500	7.22
三菱商事RtMジャパン株式会社	400,075	2.94
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	306,178	2.25
三菱UFJ信託銀行株式会社	267,500	1.96
株式会社日本カストディ銀行 (証券投資信託口)	236,200	1.73
JP MORGAN CHASE BANK 385151	214,024	1.57
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	213,400	1.57
株式会社扇谷	200,375	1.47
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	183,001	1.34

(注) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

● 株式所有者別分布状況



● 株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



株式についてのご案内

- **事業年度** 4月1日～翌年3月31日
- **基準日** 3月31日、その他必要により取締役会で決議した日
- **配当金支払
株主確定日** 3月31日及び中間配当を実施するときは9月30日
- **定時株主総会** 毎年6月
- **公告の方法** 電子公告 <http://www.toho-zinc.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により電子公告による
公告をすることができない場合は、日本経済新聞
に掲載いたします。
- **単元株式数** 100株
- **株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- (お問い合わせ先) 東京都府中市日鋼町1番1号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル0120-232-711
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



東邦亞鉛株式会社

〒100-8207

東京都千代田区丸の内一丁目 8 番 2 号 鉄鋼ビルディング

Tel : 03 - 6212 - 1711 Fax : 03 - 3284 - 1521

<http://www.toho-zinc.co.jp/>